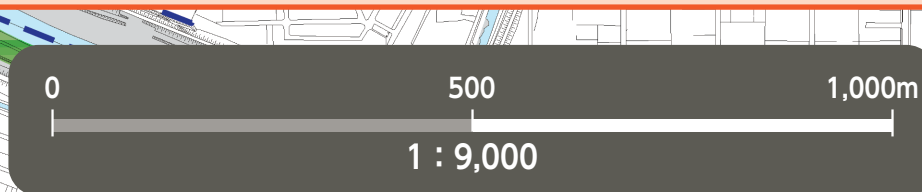


地震ハザードマップ 東区



地震ハザードマップの説明
 ・このマップは、本市が平成26年2月に公表した南海トラフで発生する地震の被害想定をもとに、市内各地で想定される震度や液状化の可能性などを示したものです。
 ・南海トラフにおいて千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低い、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震として「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の地震を想定しています。

震度



震度の説明

震度	状況
7	揺れにほんろうと動く。はわないと歩くことができない。立っていることができない。飛ばされることもある。
6強	
6弱	立っていることが困難になる。
5強	大半の人が、物につかまらないうるさくことが難しいなど、行動に支障を感じる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

指定緊急避難場所への避難

名古屋市長官舎本部・東区本部(東区役所)
 TEL/935-2271(代表)
 934-1111~6(ダイヤルイン)
 FAX/935-5866

官公署(□印)

A 東区役所	D 東消防署矢田出張所
B 東消防署	E 東土木事務所
C 東消防署富士塚出張所	

凡例

指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】
 地震・大規模な火事の指定緊急避難場所であり、大規模な火事から避難者を守るための空間を有している公園、緑地など。

指定緊急避難場所(地震の揺れ)【一時避難場所】
 地震の指定緊急避難場所であり、一時的に避難して様子をつかうところ。

応急給水施設(常設給水栓・仮設給水栓)
 広域避難場所などに整備しており、災害時には上下水道局職員や応援協定を締結している民間事業者が開業する施設。

災害応急用井戸(事業所)
 大地震発生時の生活用水(飲料水ではありません)の確保を目的とし、事業所、工場などが持つ井戸のうち、災害時に地域住民に提供いただける井戸。

応急給水施設(地下式給水栓)
 給水区域内全ての公立小中学校に整備されており、災害時には避難者自らが操作し、水を確保する施設。

土砂災害(特別)警戒区域
 土砂災害の発生のおそれがある区域。

区界
 区界

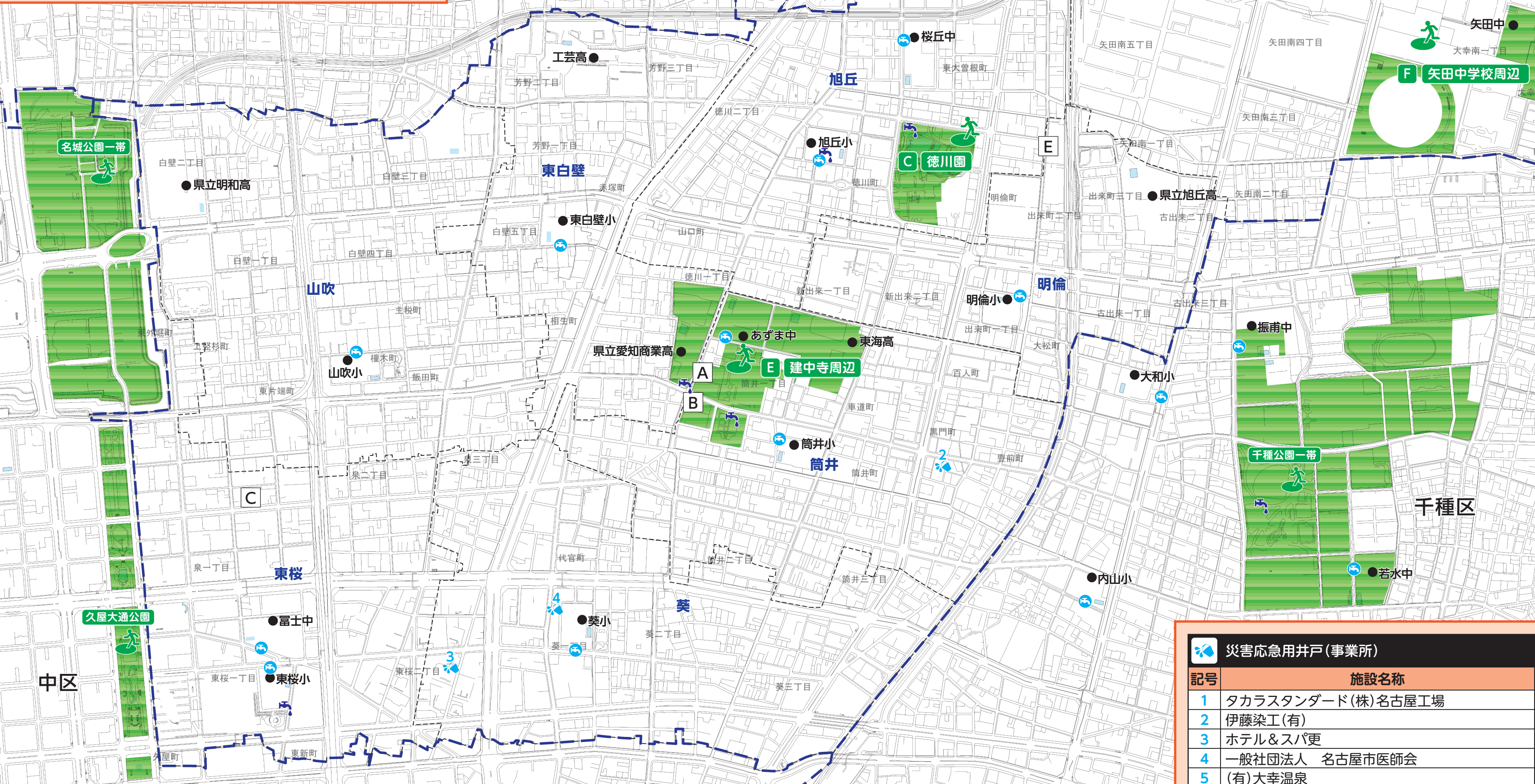
学区界
 学区界はおおよそです。詳しくは、各行政区役所にお問い合わせください。

※他区の指定緊急避難場所への避難可否は、各区の各種ハザードマップをご覧ください。
 名古屋市公式ウェブサイトですべてのハザードマップを公開しています。

指定緊急避難場所(地震の揺れ、大規模な火事)【広域避難場所】

記号	施設名称	指定緊急避難場所	
		地震の揺れ	大規模な火事
A	宮前橋緑地	○	○
B	木ヶ崎公園	○	○
C	徳川園	○	○
D	大幸第二公園	○	○
E	建中寺周辺	○	○
F	矢田中学校周辺	○	○
G	矢田川橋緑地	○	○
H	千代田橋緑地	○	○

市立小学校・中学校・一部の高等学校等のグラウンド(明和高等学校、工芸高等学校、愛知商業高等学校、東海高等学校、旭丘高等学校、至学館高等学校)
 ※広域避難場所に含まれる施設については、大規模な火事にも対応



災害応急用井戸(事業所)

記号	施設名称
1	タカラスタンダード(株)名古屋工場
2	伊藤染工(有)
3	ホテル&スパ更
4	一般社団法人 名古屋医師会
5	(有)大幸温泉

液状化



液状化可能性の説明

液状化可能性	状況
大	液状化発生の可能性が高い。
中	液状化発生の可能性がある。
小	液状化発生の可能性が低い。
なし	液状化発生の可能性は極めて低い。

※液状化については、発生確率や発生面積を予想することは困難であることから、可能性で表現しています。